情　報　公　開　文　書

研究の名称	重心動揺検査における AI 診断の有用性の研究
整理番号	R2020256
研究機関の名称	国立大学法人　富山大学
研究責任者	耳鼻咽喉科頭頸部外科　教授　將積 日出夫
研究の概要	【研究対象者】 ①　2018 年 3 月以降に重心動揺検査を受けていただいた，めまいのない方（【重心動揺検査の精度向上のための研究（臨 29-155)】に基づいて，同意し参加いただいた方です)。 ② 1989 年から 2025 年までの間に，富山大学耳鼻咽喉科を受診しためまい・難聴の患者さんのうち，原因を調べるなどの目的で精密平衡機能検査をうけられた方（2019 年 4 月 24 日の情報公開文書【めまい・難聴に対する精密平衡機能検査の有用性に関する調査研究（R2019003)】に基づいています。)。 【研究の目的・意義】 重心動揺検査は，めまい疾患の原因となる障害部位を探したり，治療効果の評価などに使う検査です。この検査をさらに診療に役立てるための方法として，AI（人工知能）を利用して解析できるようにすることを目指します。その研究成果は，めまい患者さんの診断，治療に役立つと考えております。 【研究の方法】 上記の【研究対象者】で示した方々の，重心動揺の記録データ，解析結果から障害部位や診断名を推定するための AI 解析法を研究します。 【研究期間】 2020 年 6 月 11 日～2023 年 3 月 31 日 【研究結果の公表の方法】 めまいや平衡障害に関する学会での発表，医学学会誌への投稿を予定しています。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	検査に参加いただいためまいのない方，および患者さんを特定できる個人情報は削除した上で，以下の①，②を研究に利用します。 ① めまいのない方は，検査ファイルから得た「性別」,「年齢」,「重心動揺検記録データと解析結果」 ② 患者さんは，電子カルテ，検査ファイルから得た「性別」,「年齢」,「疾患名」,「重心動揺記録データと解析結果」 以上について，共同研究機関である Toronto Rehabilitation Institute に送付して，AI による解析を行います。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学学術研究部医学系・耳鼻咽喉科頭頸部外科学　將積日出夫 Kei MASANI, Ph.D (Director, Motion and Adaptation Science Laboratory Lyndhurst Centre, KITE - Toronto Rehabilitation Institute - University Health Network)
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を

	開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学学術研究部医学系・耳鼻咽喉科頭頸部外科学 教授　将積日出夫
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話　076-434-7368 FAX　076-434-5038 E-mail　masai@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名　富山大学耳鼻咽喉科頭頸部外科学・浅井正嗣